

(1) 第10号

中播福祉会広報

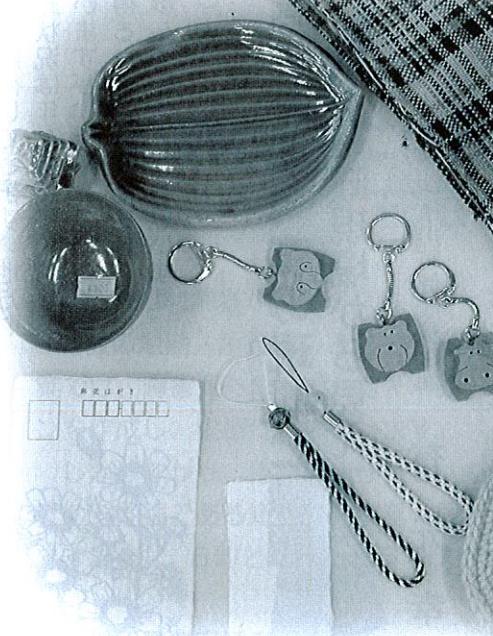
平成15年10月1日発行



# ともに歩む

No.10

## 法人施設の作品



いちかわ園



香翠寮

ゆめさき分園

社会福祉法人

中播福祉会

法人事務局 兵庫県神崎郡香寺町土師365番地1  
TEL. 0792-32-6151  
FAX. 0792-32-7250

## 『支援費制度での 中播福祉会に期待すること』

香寺町健康福祉課長 金川知泰

障害のある人が障害のない人と共に社会の一員として、いきいきと生活ができる社会を目指す「ノーマライゼーション」の実現に向けて、平成十五年四月から「支援費制度」がスタートしました。障害者福祉サービスについては、これまで行政がサービスの受け手を特定し、サービスの内容を決定する「措置制度」から新たな利用の仕組み「支援費制度」に移行しました。この支援費制度は障害者の自己決定を尊重し、利用者本位のサービスの提供を基本として事業者との対等な関係に基づき、障害者自らがサービスを選択し、契約によりサービスを利用する仕組みです。

中播広域福祉施設として夢前町と神崎郡五町で共同設置した中播福祉会は、開所以来知的障害者（児）に対して家庭や地域のなかで人間らしい生活を送ることができるようになに、必要なサービスを総合的に提供することを目的に運営されています。香翠寮では身体介護、家事援助、外出支援に加えて、通院の付き添い、自宅での見守りなどのホームヘルプサービスや短期入所の居宅サービスが展開されているところであります。又、本年四月一日よりいちかわ園及びいちかわ園ゆめさき分園においても短期入所事業を開始しております。

このようなかつて、平成十四年度の療育等支援事業を通じて管内の在宅障害者（児）の相談において、第一に養護学校や障害児学級を卒業した後、日中活動の場として特にデイサービス事業の早期実施がニーズとして挙がっております。今後もこの地域の障害者（児）福祉の牽引役として、中播福祉会の果たす役割は大きく、今以上に利用者の立場に立った事業を開拓されることを期待しています。

市川町健康福祉課 市川町健康福祉課課長 有元幸男

平成十五年四月より支援費制度が始まり早六ヶ月が過ぎようとしています。中播磨地域は支援費制度施行前から、中播福祉会を始めとするたくさんの事業所の熱意と協力があり、居宅サービスにおいてはできる限りの支援が行われています。

しかし、兵庫県内では、身体障害、知的障害関係で施設者がたくさんありますが、何處とも満員で入所していく難しい状態にあります。

特に知的障害者の入所施設に空きが出来たとしても、入所調整会議において入所者を決定するためなかなか入所するのが難しくなるように思って、計画性を持って利用していただくことで、本当に緊急に必要な時にも利用していた

ことを期待しています。地方財政状況は年々厳しさを増していますが、行政としてもでき得る限りの援助をし、共に歩んでいきたいと思います。



だくことが大切であると考えます。

施設においては、本人の状況によって町が施設に支払う金額が変わります。



# 法人施設(居宅)サービス利用の感想

## 我が子供の夏休み

香翠寮ショートステイ利用の母より

## いちかわ園の利用

ショートステイ利用者の母より

今年は雨が多く、比較的夏前半は過ごしよかつたなと思います。毎年こういった障害のある者の夏休みは大変です。長い長い四十日余りをどうやって暮らすかが悩みです。でも過ぎてみるとアツという間なんです。それは一重に一人で悩みを抱え込まないで多くの人の助けをお借りしてこそです。うちはお父さんの出番が一番多くなります。次におばあちゃんです。九十才近くになりますが息子は十五才になつてもおばあちゃん子です。

中播福祉会香翠寮には普段からショートステイでお世話になり大変助かっています。香翠寮を上げてくださった先人に心から敬意と感謝を持っています。ただこの四月から法改正によつて「こどもセンター」を通して予め一ヶ月前からの予約が出来なくなつていつキャンセルができるから分からなくなり、不安を感じています。

県立姫路養護よりも古くに立ち上りてくださった先人に心から敬意と感謝を持っています。たゞこの四月から法改正によつて「こどもセンター」を通して予め一ヶ月前からの予約が出来なくなつていつキャンセルができるから分からなくなり、不安を感じています。

今後は、介助員をふやしていただき、娘の体調を見ながらですが、ショートステイが週五日利用できる日が来ることを願っています。また、利用者の人たちと共に、保護者同伴の旅行などにも参加できたらと思います。

姫養の高等部を卒業して三年目になります。卒業後、いちかわ園で週二日のショートステイが利用できるようになつて助かっています。さらに、四月から支援費制度が始まり、ショートステイも週二日から三日、利用できるようになつて本当に嬉しく思っています。

娘は、いちかわ園に行けるようになつて、家で私と一緒にいるよりいちかわ園の利用者とのふれあいにより、いい刺激を受け、よりたくましくなつたように感じます。また、集団行動の厳しさやルールなども、少しは理解出来たのではないかと思います。

## 支援費制度に移行してからの中播福祉会における在宅サービスの取り組み

4月から利用者がサービス事業者と対等な関係で契約を結ぶ「支援費制度」がスタートしました。3施設の短期入所事業の8月31日現在の実績は下表のとおりです。また、香翠寮における居宅介護事業では、障害児への派遣も増え常勤ヘルパーも2名に増員し、利用者個々のニーズにあったケアプランを作成し、支援に努めています。

しかしながら、支援費に移行したもののサービスを選択するだけの資源がないのが現状で、在宅福祉の三本柱である短期入所事業・居宅介護事業・デイサービス事業の実施が必要であると考えております。また、6町とのネットワーク作りが必要不可欠であります。

短期入所事業実績表（単位：件数）

		日 中	泊
香 翠 寮	児	178	21
	者	69	86
いちかわ園	児	26	
	者	189	
ゆめさき分園	児	29	
	者	17	

居宅介護事業実績表（香翠寮）（単位：時間）

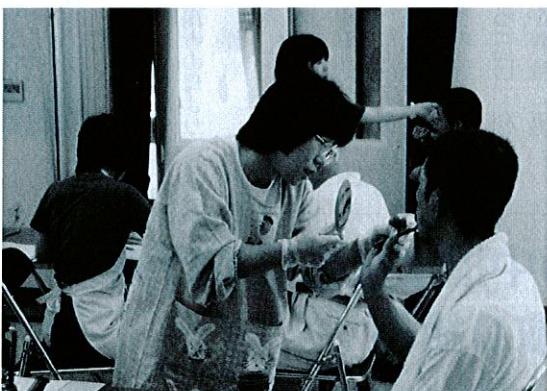
家 事 援 助	65
身 体 介 護	220
移 動 介 護 (身体介護有)	7
移 動 介 護 (身体介護無)	19
合 计	311

# 香翠寮の ブラッシング指導に携わって

兵庫県歯科衛生士会  
姫路・神崎支部

私は一回三名のスタッフで、月一回指導日を指定し、歯磨き指導を行っています。香翠寮が、健康福祉事務所の事業で衛生教育を受けたことがきっかけで、歯科衛生士会に依頼があり、昨年五月より歯磨き指導にはいることになりました。以前より、近くの歯科医に健診をしてもらわれていたので、口を開けることは全員あまり抵抗はありませんでした。外部からいる私たちを快く受け入れてくれました。今では私たちの顔も覚えてくれて、「今日、歯磨きするんやろ」「今度またいつ来るん」となどと声もよくかけてくれます。

ブラッシング指導は、まず歯垢を染色し、鏡を見せ、寮生に赤く残っているところを確認してもらいます。



ここでは、一回十五名程度指導しているので、一人に対しても二ヶ月に一回の割で指導することになります。そこ

として、一人で一度落としてもらい、磨き残しの所を私たちが声かけしたり、手を添えたりして、できるだけ本人が一人で落とせるよう指導しています。どうしても、一人では無理な人などが、職員に介助磨きをお願いしています。健常者以上にきれいに磨けている人もいれば、歯ブラシを口に入れるだけですぐに終わってしまう人もあります。また上手に磨ける人でも、寮に行事があつたり、気にかかることがあるとほとんど磨けず、染色するとなじみます。

す。そして、一人で一度落としてもらい、磨き残しの所を私たちが声かけしたり、手を添えたりして、できるだけ本人が一人で落とせるよう指導しています。どうしても、一人では無理な人などが、職員に介助磨きをお願いしています。健常者以上にきれいに磨けている人もいれば、歯ブラシを口に入れるだけですぐに終わってしまう人もあります。また上手に磨ける人でも、寮に行事があつたり、気にかかることがあるとほとんど磨けず、染色するとなじみます。

の為、私たちが行っている口腔ケアは、動機づけになるが、なかなか習慣化しきれいに磨けるようにならることは難しいことです。

今後、施設職員自身の口腔管理に対する関心を高め、理解を深めたうえで施設職員の疑問点を中心とした口腔ケアに結びつけていただきたいと思います。それに施設職員、歯科医師、寮生の家族等連携が必要となつてきますので、今後とも、よろしくお願い致します。

## ボランティアの声

### いちかわ園のボランティアに行かせていただいた

近畿福祉大学4年 天野 寛之

私が、いちかわ園にボランティアに行かせていただいている約1年になります。いちかわ園にボランティアに行くきっかけとなったのは、私が所属している障害者サークルの顧問と、サークルのメンバーと一緒に見学に行かせていただいたことでした。

いちかわ園は利用者の方と職員の方の関係が良く現場の雰囲気が明るく、はじめてボランティアに行かせていただいたときも、いつもなら緊張している私に、利用者の方たちが話しかけてくださったことにより緊張することなく利用者の方と接することができました。

4年になり多忙な時期に今でもボランティアに出かけています。それは将来いちかわ園のような施設で働きたい、現場の雰囲気や利用者の方とのコミュニケーションの取り方などいろいろなことを学びたい、利用者の方たちと楽しい時間を過ごしたい思いからです。

### いちかわ園でのボランティアを通して

近畿福祉大学4年 谷口 哲章

私がいちかわ園でボランティア活動をするきっかけになったのは、大学の実習でした。

知的なハンディキャップはあるけれども利用者は、一般に健常者と呼ばれている人たちと何ら変わりないと感じました。利用者の方々は、健常者と表現の方法が違うだけだと感じ、『障害は個性だ』という言葉を実感できました。

ボランティア活動を通して、実習中の職員会議・ケース会議時の多様な視点から物事を考えることの大切さを感じました。単なる福祉オタクではなく幅広い知識を持つことが必要だと感じました。

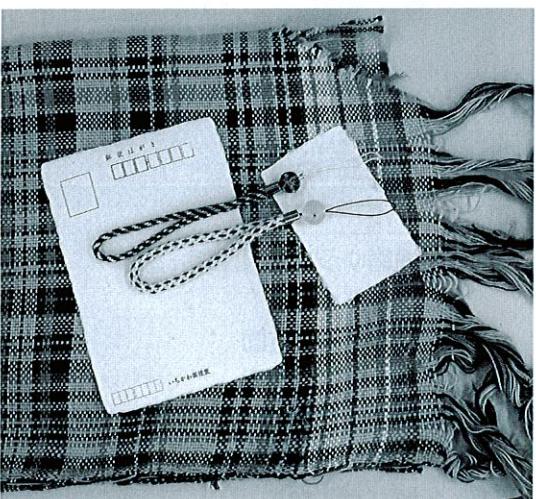
私は引っ込み思案な性格でしたが、いちかわ園でのボランティア活動を通して非常に人間的に成長できたと思います。実習を通して学べたことを単なる良い思い出で終わらせるのではなくこれから自分に役立てたいと思います。

## 法人施設作品紹介



### 〈香翠寮〉

香翠寮での自主作品は、家庭科班の靴下のリングを編みマットを作る人、かわいい布での袋作り、フェルトを使ったマスコット作り等で、マスコットは、秋の交通安全週間期間中に配られるプレゼントの注文を受けたりしています。次に、園芸班では草花の苗を年中通して地域の方に販売しています。私たちの夢は、地域で香翠寮の花をいっぱい咲かせてもらうことです。夢に向かって日々頑張っています。木工班では、木のぬくもりを活かしキーホルダー、おもちゃ、パズルなどを作っていて、大河内町エルヴィレッジ等で販売もしています。また、小学校PTAからは、飛び出し坊やの注文を毎年受け作成しています。



### 〈いちかわ園〉

いちかわ園では、授産活動として業者の下請け作業と、想像力を活かした自主生産の手芸、陶芸、木工、紙すきに取り組んでいます。中でも、さをり織りは利用者の発想で糸を選び織り上げた反物からはポーチ、小銭入れ、帽子などの素晴らしい作品が仕上がり、お客様に喜ばれています。また、紙すき班では牛乳パック、酒パックを使い、リサイクル活動としてはがき作りに取り組んでいます。今年はセルフ（全国社会就労センター協議会）より技術指導を受け、今まで以上にきれいなはがきと名刺ができるようになりました。

もう一つの活動として、作業に入ることが難しい人たちは授産前療育として公園での身体運動や屋内では紙芝居、お話し、音楽療法等の取り組みをしています。



### 〈ゆめさき分園〉

いちかわ園ゆめさき分園は、授産活動として、業者の下請け作業と自主生産活動を実施しています。

自主生産活動には、紙すき・手芸（さをり・マスコット人形）紙工芸・畳作業を実施しています。

今は、さをりを加工した、のれん・ふくろう等が人気があり、日々利用者と製品作りに追われています。

それらのさをりの加工作品は、夢前町の夢やかた・香寺町の香寺荘で販売もらっています。作品を通してゆめさき分園・障害者（知的障害）を理解してもらえればと思います。

## 香翠寮 納涼盆踊り大会のお礼

第24回香翠寮納涼盆踊り大会を平成15年8月30日(土)に開催しました。当日は雨にもかかわらず各町婦人会及び、地元婦人会の皆さま方をはじめたくさんの方々にご来場いただきましてありがとうございました。中でもお茶席・保護者会チャリティバザーは、今年初の試みで、特に利用者のゆかた姿でお抹茶を運ぶお茶席が印象的でした。

協力してくださったボランティアの方々に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

平成六年四月より、毎月一回のペースで香翠寮の利用者に民踊を指導され、利用者の情緒の安定と自立に向けての能力の向上に大きく貢献されています。また、香翠寮が実施している「香翠寮納涼盆踊り大会」や「利用者の芸能会」等にも積極的に参加され、地域交流にも大きく貢献されています。盛り上がりとともに施設行事を上げていただいております。



## 香寺民踊会

### くすのき賞受賞

一方民踊の指導を通して、やさしいお母さん役として、利用者との交流を深める中、利用者たちの良き相談役となり、心のケアへの支援にも多大なる協力を願っています。今回、くすのき賞を受賞されましたので、ご紹介させていただきました。

### 編集後記

今回の広報は、四月から開始された支援費制度が定着しつつある中、行政から見た中播福祉会の役割と課題、利用者の感想、中播福祉会の現状を中心に構成しました。また、法人施設の自主生産品の紹介を掲載しました。お忙しい中、寄稿くださいました方に厚くお礼申し上げます。

## いちかわ園ふれあい感謝のつどいのお礼

平成15年9月13日(土)にいちかわ園においてふれあい感謝のつどいを開催いたしました。平成7年に、いちかわ園設立20周年の記念行事として始まった、ふれあい感謝のつどいも、第9回目を迎えるました。今年は台風の接近もあり関係者の方々にご心配をおかけしましたが当日は晴天に恵まれ、多数の方々にご来園していただきありがとうございました。このつどいも回を重ねる度に地域の方々の参加も増え、今年は参加者も延べ500名余りになりました。

当団は多数のボランティアの協力のもと式典・演芸・模擬店等にご協力をいただきましたこと誠にありがとうございました。今後とも地域に根ざした施設づくりをめざして努力していくので、さらなるご協力をお願いいたします。

## 中播福祉会行事予定

香 翠 寮	10月	中播磨ゆうあい運動会 利用者外泊旅行 1班…城崎方面 2班…京都方面
	11月	利用者外泊旅行 3班…名古屋方面 各種バザー参加 忘年会
	12月	中播磨ゆうあい運動会 ライオンズ内科検診 各種バザー参加 JA農業祭バザー 甘地地区手をつなぐ会 クリーンキャンペーン クリスマス会
いちかわ園	10月	中播磨ゆうあい運動会 ライオンズ内科検診 各種バザー参加 JA農業祭バザー 甘地地区手をつなぐ会 クリーンキャンペーン クリスマス会
	11月	クリーンキャンペーン クリスマス会
	12月	中播磨ゆうあい運動会 外泊旅行 各種バザー参加 ハイキング 忘年会
ゆめさき分園	10月	中播磨ゆうあい運動会 外泊旅行 各種バザー参加 ハイキング
	11月	
	12月	忘年会